

新たな宮崎県立高等学校入学者選抜 実施方針

～令和 10 年度入学者選抜の実施に向けて～

令和 8 年 8 月

宮崎県教育委員会

— 目次 —

	ページ
はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
実施方針の概要	
1 制度改善の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 実施時期・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3 制度改善の基本的な視点・・・・・・・・	2
参考図 1 現行制度と新制度の対比・・・・・・・・	3
実施方針の詳細	
1 全日制課程の入学者選抜・・・・・・・・	4
1.1 入学者選抜の概要	
1.2 前期入学者選抜	
1.3 後期入学者選抜	
1.4 スポーツ推薦入学者選抜	
1.5 連携型入学者選抜	
1.6 帰国・外国人生徒等入学者選抜	
1.7 入学者選抜の実施時期	
参考図 2 前期入学者選抜（全日制課程）について・・・・・・・・	7
2 定時制課程の入学者選抜・・・・・・・・	8
2.1 入学者選抜の概要	
2.2 前期入学者選抜	
2.3 後期入学者選抜	
2.4 帰国・外国人生徒等入学者選抜	
2.5 入学者選抜の実施時期	
3 通信制課程の入学者選抜・・・・・・・・	9
3.1 入学者選抜の概要	
3.2 通信制課程入学者選抜	
3.3 通信制課程二次募集入学者選抜	
3.4 入学者選抜の実施時期	
4 全国募集について・・・・・・・・	9
5 特別な配慮を必要とする受検者への対応・・・・・・・・	10
6 調査書・・・・・・・・	10

はじめに

社会の変化が加速度を増し、将来の予測が困難な時代を迎える中、学校教育においては、一人ひとりが自らの可能性を最大限に伸ばし、夢や志の実現に向けて主体的に学び続ける力を育むことが、これまで以上に求められています。また、少子化の進行や高等学校授業料支援制度の充実などにより、生徒の進路選択を取り巻く環境は大きく変化するとともに、高等学校には、それぞれの特色や魅力を生かした学校づくりや多様な学びのニーズに応える教育が一層期待されています。

本県では、「宮崎県教育振興基本計画」の理念のもと、一人ひとりの可能性を最大限に伸ばし、夢や志の実現に向けて主体的に学び続ける人づくりを目指し、個性や能力を尊重する教育を推進してきました。この理念のもと、県立高等学校においては、各学校がスクール・ミッション及びスクール・ポリシーに基づく特色ある教育活動を展開するとともに、県立高等学校入学者選抜についても、令和4年度から自己推薦方式による推薦入学者選抜及び一般入学者選抜を導入し、生徒の適性や個性、学力を総合的に評価する制度として運用してきました。

この間、新しい学習指導要領の着実な実施や探究的な学びの充実、デジタル技術の進展などを背景として、高等学校教育においては、知識及び技能の習得に加え、多様な資質・能力を育成する教育の充実が一層求められるようになりました。また、全国では2040年を見据えた高等学校改革が進められており、本県においても、各高等学校がスクール・ポリシーのもと、それぞれの特色や魅力をさらに高め、生徒一人ひとりの可能性を伸ばす教育の充実に取り組んでいます。

こうした高等学校教育の変化を踏まえると、入学者選抜においても、高等学校教育と一体となってその役割をさらに発揮できる制度として、充実を図ることが重要です。生徒が義務教育9年間を通して身に付けてきた資質・能力や学びの成果を適切に評価し、各高等学校の特色や教育内容を踏まえて、その後の学びへとつなぐことは、これからの県立高等学校入学者選抜に求められる重要な役割です。

本県では、このような考え方のもと、現行制度の成果と課題を検証するとともに、生徒・保護者・学校関係者へのアンケート調査や有識者からの意見聴取を実施し、今後の県立高等学校入学者選抜制度の在り方について検討を重ねてきました。また、「新たな宮崎県立高等学校入学者選抜制度改善実施方針（素案）」を公表し、県民の皆様から寄せられた意見も踏まえながら、制度の具体化に向けた検討を進めてきたところです。

本実施方針は、これらの検討を踏まえ、本県がこれまで大切にしてきた教育理念を継承しながら、生徒一人ひとりの学びや成長を高等学校教育へと確実につなぎ、その可能性をさらに伸ばすことのできる新たな宮崎県立高等学校入学者選抜制度の方向性を示すものです。

なお、本実施方針に基づき、各年度の宮崎県立高等学校入学者選抜の基本事項については「宮崎県立高等学校入学者選抜要綱」において定めるとともに、出願手続、選考方法その他入学者選抜の実施に必要な事項については「宮崎県立高等学校入学者選抜実施細目」において定めることとします。

実施方針の概要

1 制度改善の基本方針

本県は、県立高等学校入学者選抜制度の改善に当たり、次の考え方を基本とする。

多彩な資質・能力に光をあてる入学者選抜
— 9年間の学びを未来につなぐ「学びのバトン」として —

県立高等学校入学者選抜は、入学者を公正かつ適切に選抜するという基本を堅持するとともに、生徒が義務教育9年間を通して身に付けてきた資質・能力や学びの成果を適切に評価し、高等学校における学びにつなぐ役割を担うものとする。

2 実施時期

令和10年度入学者選抜（令和8年度の中学2年生が対象）

3 制度改善の基本的な視点

〈視点①〉多彩な資質・能力に光をあてる選抜制度

基本的な考え方

受検者が義務教育9年間を通して身に付けてきた資質・能力や学びの成果を、より多面的・総合的に評価するとともに、各高等学校のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）に基づき、それぞれが求める生徒像に応じた選抜を、これまで以上に充実したものとする。

主な改善内容

- 全日制・定時制課程の入学者選抜は、現行の自己推薦方式による推薦入学者選抜と一般入学者選抜を発展的に融合し、それぞれの選抜の特性を兼ね備えた新たな「前期入学者選抜」として一本化する。
- 学力検査は、国語、社会、数学、理科及び外国語（英語）の5教科に一本化する。
- 各高等学校のアドミッション・ポリシーを踏まえ、「学校独自検査」（面接、適性検査、学校独自学力検査、作文、実技検査その他各高等学校長が必要と認める検査）を実施する。
- 調査書の項目については、入学者選抜の資料として真に必要な事項となるよう、現行の項目を精選する。

〈視点②〉複数志願できる選抜制度

基本的な考え方

受検者が自らの適性、興味・関心、将来の目標及び各高等学校の特色等を踏まえ、自らの意思で進路を選択し、安心して第1志望を志願できる制度とする。

主な改善内容

- 複数の学科（コース）に出願できる「複数志願制」を導入する。

〈視点③〉教育活動に配慮した選抜期間

基本的な考え方

入学者選抜による教育活動への影響を最小限に抑え、生徒一人ひとりの学びを保障するとともに、中学校及び高等学校の教育活動に配慮した制度とする。

主な改善内容

- 現行の推薦入学者選抜と一般入学者選抜を統合し、前期入学者選抜において全募集人員を一括して募集する。

現行制度と新制度の対比

現行

2月上旬	推薦入学者選抜 (自己推薦方式) (全日制・定時制) 【選抜検査内容】・学力検査(0～3教科) ・適性検査 【選考資料】選抜検査・自己推薦書・調査書 【志願校・学科数】1校1学科	
	その他の選抜 (推薦入学者選抜と同日実施) ○ 推薦入学者選抜(スポーツ推薦方式) ○ 中高一貫教育校(連携型)における入学者選抜 ○ 帰国・外国人生徒等入学者選抜(全日制・定時制)	
3月上旬	一般入学者選抜 (全日制・定時制) 【選抜検査内容】・学力検査(5教科) ・面接 【選考資料】選抜検査・調査書 【志願校・学科数】1校3学科(コース)まで(普通科系専門学科を志願の場合は、第2志望まで志願が可)	
3月下旬	二次募集入学者選抜 (全日制・定時制) (募集人員に対して合格者が未充足の場合) 【選抜検査内容】・校長が定める 【志願校・学科数】1校3学科(コース)まで	
3月下旬	通信制課程入学者選抜 【選抜検査内容】・面接、作文及びその他必要な書類	
4月上旬	通信制課程 二次募集入学者選抜 【選抜検査内容】・校長が定める	

新

2月上旬	前期入学者選抜 (全日制) 【選抜検査内容】・学力検査(5教科) ・学校独自検査(面接、適性検査、学校独自学力検査、作文、実技検査その他各高等学校長が必要と認める検査) 【選考】 〈選考Ⅰ〉第1志願選考(第1志願のみ) 〈選考Ⅱ〉複数志願選考(第1志願+第2志願) 【選考資料】選抜検査・調査書 【志願校・学科数】第1志願:1校1学科(コース) 第2志願:1校3学科(コース)まで	〈選考Ⅰ〉で合格に至らない志願者
	前期入学者選抜 (定時制) 【選抜検査内容】・学力検査(5教科) ・学校独自検査(面接、適性検査、学校独自学力検査、作文、実技検査その他各高等学校長が必要と認める検査) 【選考資料】選抜検査・調査書 【志願校・学科数】1校3学科まで	
	その他の選抜 (前期入学者選抜と同日実施) ○ スポーツ推薦入学者選抜(全日制のみ) ○ 中高一貫教育校(連携型)における入学者選抜(全日制のみ) ○ 帰国・外国人生徒等入学者選抜(全日制・定時制)	
3月上旬	後期入学者選抜 (全日制・定時制) (募集人員に対して合格者が未充足の場合) 【選抜検査内容】・校長が定める 【志願校・学科数】1校3学科(コース)まで	
3月中旬	通信制課程入学者選抜 【選抜検査内容】・面接、作文及びその他必要な書類	
3月下旬	通信制課程 二次募集入学者選抜 【選抜検査内容】・校長が定める	

I 全日制課程の入学者選抜

I.1 入学者選抜の概要

- (1) 前期入学者選抜
- (2) 後期入学者選抜
- (3) スポーツ推薦入学者選抜
- (4) 中高一貫教育校（連携型）における入学者選抜（以下「連携型入学者選抜」という。）
- (5) 帰国・外国人生徒等入学者選抜

I.2 前期入学者選抜

- ・ 前期入学者選抜は、全ての募集人員を対象として実施する。
- ・ 選抜は、「第1志願選考」及び「複数志願選考」により行う。
- ・ 出願は、第1志願として1校1学科（コース）、第2志願として1校3学科（コース）まで出願することができる。なお、第1志願及び第2志願は、同一の高等学校への出願も可とする。第2志願への出願は任意とする。ただし、定時制課程との併願はできない。
- ・ 前期入学者選抜の検査当日に、病気その他やむを得ない事情により、検査場及び別室において検査の全部又は一部を受検することができなかった者を対象に、選抜追検査を実施する。

(1) 選考

① 第1志願選考

- ・ 〈第1志願選考〉は、受検者が第1志願とする高等学校・学科（コース）について選考を行う。
- ・ 各高等学校・学科等の募集人員のうち、〈第1志願選考〉の枠を定める。
- ・ 選考は、学力検査、学校独自検査及び調査書を選考資料として実施する。
- ・ 各高等学校は、アドミッション・ポリシーに基づき、学校独自検査を重視する選考型及び学力検査を重視する選考型を組み合わせで設け、各選考型の募集人員及び配点を定めるものとする。
- ・ 〈第1志願選考〉で合格の判定に至った受検者は、合格者として決定する。
- ・ 〈第1志願選考〉で合格に至らなかった受検者は、引き続き〈複数志願選考〉での選考対象となる。
- ・ 〈第1志願選考〉における合格者数が、〈第1志願選考〉の枠に満たない場合は、その不足する人員を〈複数志願選考〉に充てる。

② 複数志願選考

- ・ 〈複数志願選考〉は、〈第1志願選考〉で合格とならなかった受検者を対象として選考を行う。
- ・ 〈第1志願選考〉における合格者数が、第1志願選考の募集人員に満たない場合は、その未充足分を〈複数志願選考〉に加える。
- ・ 選考は、学力検査及び調査書を選考資料として実施する。
- ・ 〈複数志願選考〉では、第1志願の高等学校・学科（コース）について選考を行う。
- ・ 第2志願に出願した受検者については、第1志願に加え、第2志願の高等学校・学科（コース）についても選考を行う。
- ・ 第1志願及び第2志願の両方で合格の判定に至った場合は、第1志願での合格とする。

(2) 検査内容

① 学力検査

- ・ 学力検査は、国語、社会、数学、理科及び外国語（英語）の5教科について実施する。学力検査においては、出題範囲を示すこととする。
- ・ 受検者は、第1志願の高等学校・学科（コース）において学力検査を受検する。
- ・ 学力検査は、〈第1志願選考〉及び〈複数志願選考〉の選考資料として用いる。
- ・ 〈複数志願選考〉では、第1志願の高等学校・学科（コース）で受検した学力検査の得点を用いて、第1志願及び第2志願の高等学校・学科（コース）について選考を行う。

② 学校独自検査

- ・ 学校独自検査は、各高等学校のアドミッション・ポリシーに基づき、面接、適性検査、学校独自学力検査、作文、実技検査その他各高等学校長が必要と認める検査の中から実施する。
- ・ 受検者は、第1志願の高等学校・学科（コース）において学校独自検査を受検する。
- ・ 学校独自検査は、〈第1志願選考〉の選考資料として用いる。

(3) 合格者の決定及び発表

- ・ 〈第1志願選考〉及び〈複数志願選考〉の結果を踏まえ、前期入学者選抜の合格者を決定する。
- ・ 前期入学者選抜の合格者は、〈第1志願選考〉及び〈複数志願選考〉の両方が終了した後発表する。

1.3 後期入学者選抜

- ・ 後期入学者選抜は、前期入学者選抜の合格者発表の段階で、合格者が募集人員に満たない場合に実施し、募集人員は、前期入学者選抜終了後の募集人員の未充足分とする。
- ・ 後期入学者選抜に出願できるのは、県立高等学校及び特別支援学校（高等部）に合格していない者とする。
- ・ 出願は、1校限りとし、学科（コース）を2以上置く高等学校においては、第2志望又は第3志望まで志願することができる。ただし、定時制課程との併願はできない。

(1) 選考

後期入学者選抜は、受検者が志願する高等学校・学科（コース）について選考を行う。

(2) 検査内容

検査内容に関する詳細については、各高等学校長が定める。

1.4 スポーツ推薦入学者選抜

- ・ 宮崎県競技力強化指定校の指定部活動を対象として、優れた競技実績又は競技能力を有し、入学後も当該部活動の競技者として部活動に入部し、取り組む意志のある者を対象に、スポーツ推薦入学者選抜を実施する。
- ・ 出願は、1校限りとし、学科（コース）を2以上置く高等学校においては、第2志望又は第3志望まで志願することができる。ただし、定時制課程との併願はできない。
- ・ 本選抜の合格者数は、〈第1志願選考〉の募集人員から減ずる。
- ・ 本選抜は、前期入学者選抜と同じ日程で行い、検査内容については、前期入学者選抜に準じて、各高等学校長が定める。
- ・ 実施校、指定部、募集人員、出願資格その他必要な事項については、当該年度の「宮崎県立高等学校入学者選抜実施細目」において定める。

1.5 連携型入学者選抜

- ・ 本選抜は、県立高等学校管理運営規則に定める連携型高等学校において、中高一貫教育（連携型）を行っている連携型中学校の生徒を対象に実施する。
- ・ 本選抜は、前期入学者選抜と同じ日程で行い、国語、社会、数学、理科及び外国語（英語）の5教科の学力検査、連携型独自検査及び調査書を選考資料として実施する。連携型独自検査では、面接、適性検査、学校独自学力検査、作文、実技検査その他当該高等学校長が必要と認める検査の中から実施する。また、当該高等学校長は、「中高連携による学習のまとめ」を選考資料に加えることができる。
- ・ 本選抜の募集人員は、当該年度の「宮崎県立高等学校入学者選抜実施細目」において定める。

1.6 帰国・外国人生徒等入学者選抜

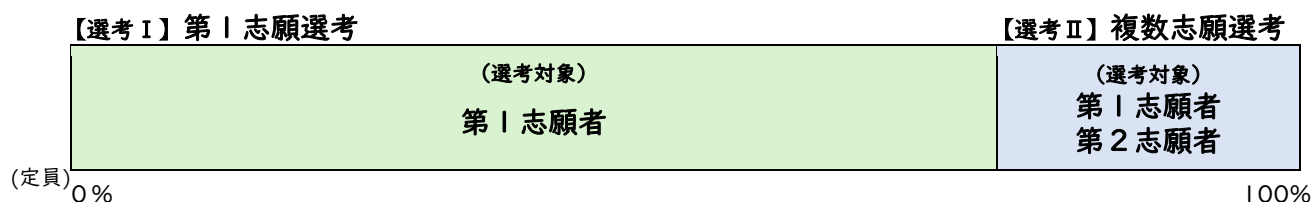
- ・ 当該年度の「宮崎県立高等学校入学者選抜要綱」に定める応募資格を有し、入学後日本語指導が必要で、外国における在学期間又は在日期间について所定の要件を満たす者を対象に、帰国・外国人生徒等入学者選抜を実施する。
- ・ 出願は1校限りとし、学科（コース）を2以上置く高等学校においては、第2志望又は第3志望まで志願することができる。なお、定時制課程との併願はできない。
- ・ 募集人員は、定員の対象外とし、高等学校ごとに若干名とする。
- ・ 本選抜は、前期入学者選抜と同じ日程で行い、国語、数学及び外国語（英語）の学力検査、適性検査及び調査書等を選考資料とし、総合的に選考を行う。
- ・ 国語、数学及び外国語（英語）の学力検査及び適性検査問題については、漢字にルビを付けた検査問題を使用する。
- ・ 適性検査は、日本語又は英語で実施する。

1.7 入学者選抜の実施時期

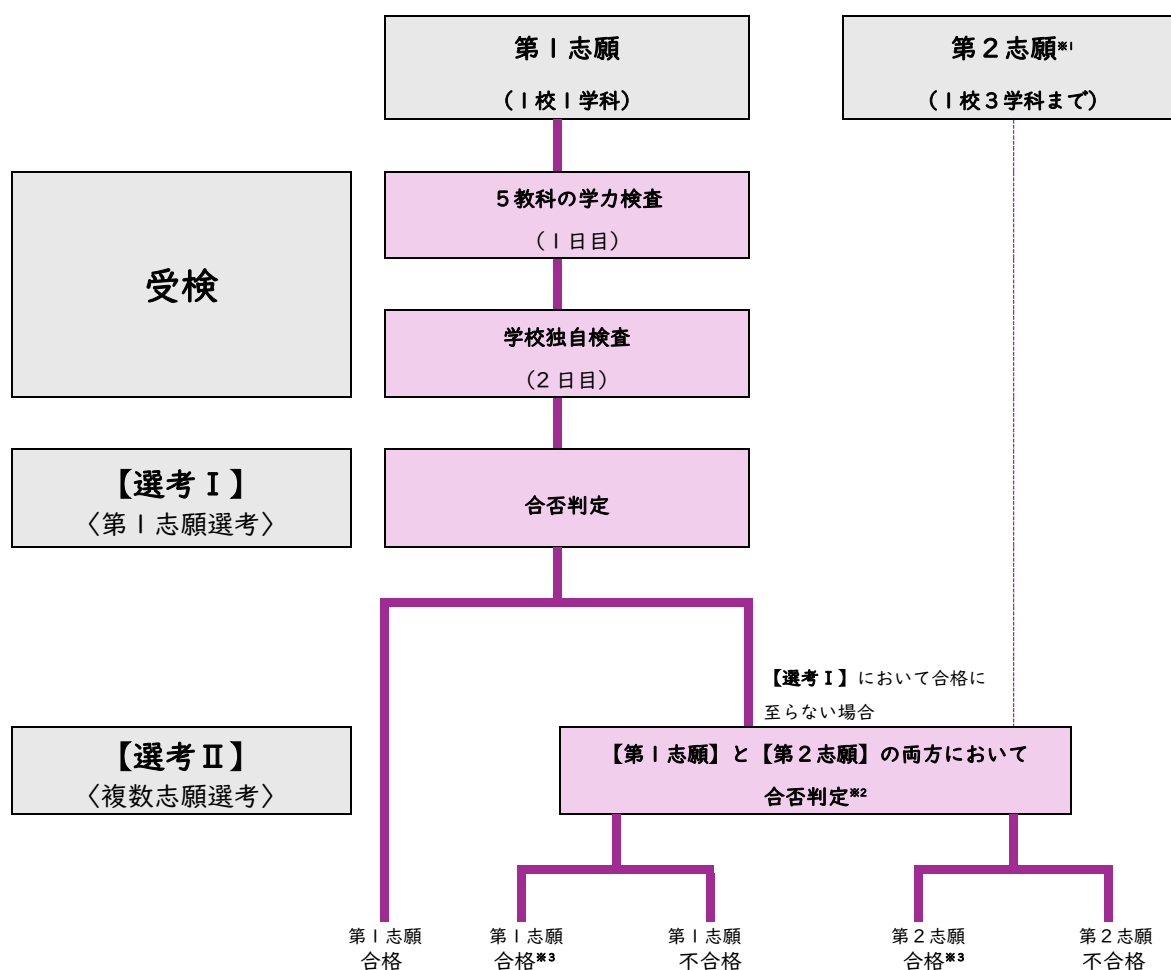
- ・ 前期入学者選抜は2月上旬の2日間、後期入学者選抜は3月上旬の1日間を基本として実施する（定時制課程の入学者選抜と同日に実施する）。
- ・ スポーツ推薦入学者選抜、連携型入学者選抜、帰国・外国人生徒等入学者選抜は、前期入学者選抜と同日に実施する。
- ・ 具体的な実施日程については、当該年度の「宮崎県立高等学校入学者選抜要綱」において定める。

前期入学者選抜（全日制課程）について

（１）選考の種類と定員



（２）前期入学者選抜（全日制）の流れ



※１ 第Ⅱ志願への出願は任意とする。

※２ 【選考Ⅱ】は、【選考Ⅰ】で合格とならなかった受検者を対象として行う。第Ⅱ志願に出願している受検者については、第Ⅰ志願の高等学校・学科（コース）に加え、第Ⅱ志願の高等学校・学科（コース）についても合格判定を行う。選考は、学力検査及び調査書を選考資料として行う。

※３ 第Ⅰ志願及び第Ⅱ志願の両方で合格の判定となった場合は、第Ⅰ志願での合格とする。

（補足１） 受検者は、第Ⅰ志願の高等学校において学力検査及び学校独自検査を受検する。

【選考Ⅱ】に当たり、受検者による新たな手続や第Ⅱ志願の高等学校における受検は必要としない。

（補足２） 前期入学者選抜の合格者は、【選考Ⅰ】及び【選考Ⅱ】の両方が終了した後に発表する。

2 定時制課程の入学者選抜

2.1 入学者選抜の概要

- (1) 前期入学者選抜
- (2) 後期入学者選抜
- (3) 帰国・外国人生徒等入学者選抜

2.2 前期入学者選抜

- ・ 前期入学者選抜は、全ての募集人員を対象として実施する。
- ・ 出願は1校限りとし、学科を2以上置く高等学校においては、第2志望又は第3志望まで志願することができる。なお、全日制課程との併願はできない。
- ・ 選考は、学力検査、学校独自検査及び調査書を選考資料として実施する。
- ・ 前期入学者選抜の検査当日に、病気その他やむを得ない事情により、検査場及び別室において検査の全部又は一部を受検することができなかった者を対象に、選抜追検査を実施する。

(1) 検査内容

① 学力検査

学力検査は、国語、社会、数学、理科及び外国語（英語）の5教科について実施する。
学力検査においては、出題範囲を示すこととする。

② 学校独自検査

学校独自検査は、各高等学校のアドミッション・ポリシーに基づき、面接、適性検査、学校独自学力検査、作文、実技検査その他各高等学校長が必要と認める検査の中から実施する。

2.3 後期入学者選抜

- ・ 後期入学者選抜は、前期入学者選抜の合格者発表の段階で、合格者が募集人員に満たない場合に実施し、募集人員は、前期入学者選抜終了後の募集人員の未充足分とする。
- ・ 後期入学者選抜に出願できるのは、県立高等学校及び特別支援学校（高等部）に合格していない者とする。
- ・ 出願は、1校限りとし、学科を2以上置く高等学校においては、第2志望又は第3志望まで志願することができる。ただし、全日制課程との併願はできない。

(1) 選考

後期入学者選抜は、受検者が志願する高等学校・学科について行う。

(2) 検査内容

検査内容に関する詳細については、各高等学校長が定める。

2.4 帰国・外国人生徒等入学者選抜

- ・ 当該年度の「宮崎県立高等学校入学者選抜要綱」に定める応募資格を有し、入学後日本語指導が必要で、外国における在住期間又は在日期间について所定の要件を満たす者を対象に、帰国・外国人生徒等入学者選抜を実施する。
- ・ 出願は1校限りとし、学科を2以上置く高等学校においては、第2志望又は第3志望まで志願することができる。なお、全日制課程との併願はできない。
- ・ 募集人員は、定員の対象外とし、高等学校ごとに若干名とする。
- ・ 本選抜は、前期入学者選抜と同じ日程で行い、国語、数学及び外国語（英語）の学力検査、適性検査及び調査書等を選考資料とし、総合的に選考を行う。
- ・ 国語、数学及び外国語（英語）の学力検査及び適性検査問題については、漢字にルビを付けた検査問題を使用する。
- ・ 適性検査は、日本語又は英語で実施する。

2.5 入学者選抜の実施時期

- ・ 前期入学者選抜は2月上旬の2日間、後期入学者選抜は3月上旬の1日間を基本として実施する（全日制課程の入学者選抜と同日に実施する）。
- ・ 帰国・外国人生徒等入学者選抜は、前期入学者選抜と同日に実施する。
- ・ 具体的な実施日程については、当該年度の「宮崎県立高等学校入学者選抜要綱」において定める。

3 通信制課程の入学者選抜

3.1 入学者選抜の概要

- (1) 通信制課程入学者選抜
- (2) 通信制課程二次募集入学者選抜

3.2 通信制課程入学者選抜

- ・ 通信制課程入学者選抜は、募集人員の全てを対象として実施する。
- ・ 通信制課程入学者選抜に出願できる者は、全日制課程又は定時制課程の前期入学者選抜もしくは特別支援学校（高等部）に出願していない者又はこれらの課程に合格していない者であって、かつ、全日制課程又は定時制課程の後期入学者選抜に出願していない者とする。

(1) 選考

- ・ 選考は、面接、作文及びその他必要な書類により行う。
- ・ 検査の当日に、病気その他やむを得ない事情によって、検査場及び別室での受検ができなかった者について、その理由が在籍中学校長によって証明されるときは、志願先高等学校長が、その検査に代わる他の適当な措置をとることができる。

3.3 通信制課程二次募集入学者選抜

- ・ 通信制課程二次募集入学者選抜は、通信制課程入学者選抜の結果、合格者数が募集人員に満たない場合に実施する。
- ・ 通信制課程二次募集入学者選抜に出願できるのは、県立高等学校及び特別支援学校（高等部）に合格していない者とする。

(1) 募集人員

募集人員は、通信制課程入学者選抜終了後の募集人員の未充足分とする。

(2) 選考

- ・ 通信制課程二次募集入学者選抜は、受検者が志願する高等学校について行う。
- ・ 選抜検査方法、検査内容その他必要な事項については、各高等学校長が定める。
- ・ 選考は、実施検査の結果及びその他必要な書類等により行う。

3.4 入学者選抜の実施時期

- ・ 通信制課程入学者選抜は3月中旬、通信制課程二次募集入学者選抜は3月下旬を基本として実施する。
- ・ 具体的な実施日程については、当該年度の「宮崎県立高等学校入学者選抜要綱」において定める。

4 全国募集について

全国募集については、各高等学校の特色ある学校づくりや地域連携等の一層の推進の観点から、引き続き実施する。なお、実施校、募集人員その他必要な事項については、当該年度の「宮崎県立高等学校入学者選抜実施細目」において定める。

5 特別な配慮を必要とする受検者への対応

特別な配慮を必要とする受検者については、中学校等において日常的に実施されている支援や配慮の状況を踏まえ、障がいの状態その他の事情に応じて、受検上必要な配慮を行う。

申請手続、配慮の内容その他必要な事項については、当該年度の「宮崎県立高等学校入学者選抜実施細目」において定める。

6 調査書

調査書の主な項目については、下のとおりとする。詳細については、当該年度の「宮崎県立高等学校入学者選抜実施細目」において定める。

ア	志願者出身中学校等
イ	学習の記録（観点別学習状況及び評価）
ウ	特別活動の記録（学級活動、生徒会活動、学校行事、その他）
エ	諸活動の記録（部活動・地域クラブ等での活動状況、奉仕活動等、資格・特技等）
オ	総合所見